



## 水遊びに子どもの歓声

30 度を超える本格的な暑い夏の到来です。夏と言えば、子どもたちにとっては、プールでの水遊びの季節です。今年も、16 日(土)に、らいおん組のお父さん方の手伝いにより、プールを組み立て、22 日から、今年度の水遊びが始まりました。

昨年まで 2 対のプールを準備していましたが、今年は園庭の関係で 2 対置けないので、少し大きめのプールにし、2 クラス合同で遊べるようにしています。年長さんは、1 年振りのプールとはいえ、経験から、何の抵抗もなく直ぐにプールに親しみ、そして、楽しく水遊びができたようです。また、昨年までと違って、大きめのプールでの水のかけ合いやワニ歩きを十分に堪能したようです。

初めて幼稚園のプールに入る年少さんは、プールでの約束事をしっかり聞いた後、プールで水遊びを楽しみました。初めは怖がってプールに入れなかった年少さんも、友達が楽しそうに遊んでいる姿を見て、見ているよりも自分もした方がよいと考えたのでしょうか、自らプールに入り水の掛け合いをして楽しんだようです。子どもたちの歓声が、響流の森にも届いたようです。

幼稚園のプールは組み立て式で水深も浅く、水量も少ないために、遊びを中心に指導しています。

幼稚園教育要領では、特に、水遊びについて触れていません。因みに、小学校指導要領体育科編「低学年 水遊び」でも下記のとおり、水に慣れることをねらいとした内容になっています。

ア. 水に慣れる遊びでは、水につかたり移動したりすること。

イ. 浮く・もぐる遊びでは、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすること。

従って、本園では、ワニ歩き、ボール拾い、輪くぐり、水の中でのじゃんけんなどの楽しい水遊びを通して、水を怖がらず、水に親しみ、水に慣れていくような指導をしています。



【水の掛け合いではしゃぐ年少さん】

## 頼もしい年中さん

先日、いつもの教室巡回中に、年少さんの教室を何気なく覗いてみると、年中さんの頼もしい姿を見ました。それは、年中さんが、年少さんの着替えを手伝っているところでした。それも、一人や二人ではありません。何人もの年中さんが、年少さんに優しく教え、上手に着替えを手伝っていたのです。日頃ぐずって、なかなか着替ええない年少さんも、この時ばかりは、年中さんの優しい言葉掛けには負けたようで、素直に言うことを聞いて、着替えていました。年中さんも、ちょっぴり、お兄さんお姉さんになったような気持ちで、誇らしげな顔をして、ズボンやスカートを穿かせ、ボタンを留めていました。

それにしても、自分で着替えができるようになった年中さんが、年少さんの着替えを手伝うようになるなんて凄いことです。頼もしく成長したと感じたのは私だけではないと思います。



## 園は、花いっぱい

らいおん組のお父さん方に花の植え替えをしていただき、ロータリーや玄関横の花壇が、夏の花で満載になりました。花は心を癒してくれます。ありがとうございました。今回は、春と秋の年間 2 回の植え替えに 5 年連続参加されたお父さんにお任せしました。植え替えを何度も経験されたお父さんも増えてきたので、これからの花の植え替えはもう大丈夫です。今回は、園庭の関係で植木鉢を少なめにしましたが、秋は

完成した園舎を飾るようにできたらと考えています。

